PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

09-200974

(43) Date of publication of application: 31.07.1997

(51)Int.CI.

H02J 9/06

H02J 9/06

(21)Application number: 08-022081

(71)Applicant: ORIGIN ELECTRIC CO LTD

NIPPON TELEGR & TELEPH CORP

<NTT>

(22)Date of filing:

12.01.1996

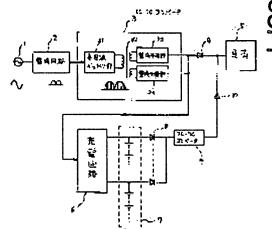
(72)Inventor: NEO SHIGERU

KANO KIMIYOSHI NAGASAKA YOSHIO YAMAZAKI MIKIO

(54) DC POWER SUPPLY EQUIPMENT HAVING BACKUP STORAGE BATTERY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to freely select a voltage of a storage battery and to enhance the power factor and efficiency of input commercial AC. SOLUTION: A DC power supply equipment is constituted using a commercial AC power supply 1, a rectifier circuit 2, a DC-DC converter 3 and a switching diode 4 as the main power source. The output power of the DC-DC converter 3 is branched to a charging circuit 6 for charging a plurality of batteries 7. Outputs from a plurality of these batteries are incorporated with the main power supply through respective switching diodes 8, backup DC-DC converter 9 and a switching diode 10. Setting voltage of the backup DC-DC converter 9 is set slightly lower than the steady-state voltage of the main power supply. Power is supplied only from the main power supply during steady state, and the backup DC-DC converter is operated under no-load condition. The DC-DC converter 9 supplies the power during power service interruption.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of

13.04.2004

rejection

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-200974

(43)公開日 平成9年(1997)7月31日

(51) Int.Cl. 6		識別記号	庁内整理番号	FΙ			技術表示箇所
H02J	9/06	502		H02J	9/06	502B	
		503				503C	
						503A	

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全 5 頁)

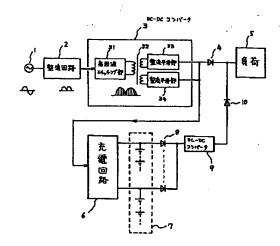
(21)出願番号	特顧平8-22081	(71)出顧人	000103976	
			オリジン電気株式会社	
(22)出顧日	平成8年(1996)1月12日		東京都豊島区高田1丁目18番1号	
		(71)出顯人	000004226	
			日本電信電話株式会社	
			東京都新宿区西新宿三丁目19番2号	
	•	(72)発明者	根尾滋	
			東京都豊島区高田1丁目18番1号 オリジ	
			ン電気株式会社内	
		(72)発明者	狩野 公芳	
			東京都豊島区高田1丁目18番1号 オリジ	
			ン電気株式会社内	

(54) 【発明の名称】 パックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置

(57)【要約】

【目的】 バックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置 において,入力商用交流の力率と効率を向上させると共 に、蓄電池の電圧の選定を自由にする。

【構成】 商用交流電源1と整流回路2とDC-DCコンバータ3とスイッチングダイオード4とからなる回路を主電源として直流電源装置を構成する。DC-DCコンバータ3の出力電力から分岐して充電回路6で複数の蓄電池7を充電する。これら複数の蓄電池7からそれぞれスイッチングダイオード8を経てバックアップ用DC-DCコンバータ9とスイッチングダイオード10を経て、上記の主電源と合流する。このバックアップ用DC-DCコンバータ9の設定電圧は主電源の定常電圧よりわずかに低く設定される。定常時は主電源のみが電力供給し、バックアップ用DC-DCコンバータ9は無負荷運転している。停電時にバックアップ用DC-DCコンバータ9が電力供給する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】商用交流入力を整流して脈流出力を発生す る回路と、この脈流出力を所定の直流出力に変換して負 荷に所定の直流出力電力を供給する主電源用DC-DC コンバータと、このDC-DCコンバータから分岐して 充電電流を与える充電回路と、この充電回路により充電 されるバックアップ用蓄電池と、このバックアップ用蓄 電池から電力供給され、前記主電源用DC-DCコンバ ータの直流出力電圧よりわずかに低い電圧の直流電力に 変換するバックアップ用DC-DCコンバータと、この バックアップ用DC-DCコンバータの出力と前記主電 源用DC-DCコンバータの出力との間に接続されたス イッチングダイオードであって、前記商用交流入力が停 電して前記バックアップ用DC-DCコンバータの出力 が前記主電源用DC-DCコンバータの出力電圧を越え たときに、オン状態となり前記パックアップ用DC-D Cコンバータから前記負荷に電力供給する極性に接続さ れたスイッチングダイオードとから構成されることを特 徴とするバックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置。

【請求項2】前記主電源用DC-DCコンバータの構成 については、前記商用交流入力の周波数より十分高い周 波数でスイッチングする高周波スイッチング部と、変圧 器と整流平滑部とから構成されることを特徴とする請求 項1に記載のバックアップ用蓄電池を備えた直流電源装 置。

【請求項3】前記変圧器より電力供給され、第2の整流 平滑部を介して前記充電回路に接続されることを特徴と する請求項2に記載のバックアップ用蓄電池を備えた直 流電源装置。

【請求項4】前記バックアップ用蓄電池について、特性の異なる蓄電池ユニットを交換する構成であって、これら蓄電池ユニットに識別端子を設け、この識別端子に対応して前記充電回路にも識別端子を設けてなることを特徴とする請求項1から請求項3までの何れかに記載のバックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はバックアップ用蓄電池を 備えた直流電源装置に関するものである。

[0002]

【従来技術】通信機用の直流電源装置は、常に安定に継続して電力を供給する高信頼性を必要とされるため、商用交流電源からの電力とバックアップ用の蓄電池とを並列にして構成し、商用交流電源の停電時に備えている。この目的の直流電源装置としては、例えば、特開平4-304160号公報に開示されている。この回路は、図3に示すように平常時には商用交流入力から整流平滑回路を経て一旦直流電圧を得て、この直流電圧を主電源用DC-DCコンバータにより負荷へ電力供給する。また、この電力を分岐して、バックアップ用の蓄電池の充電を行う。

そして商用交流入力断のときには、停電検出スイッチに よりバックアップ用蓄電池を主電源用DC-DCコンバ ータの入力電圧より低く設定されたバックアップ用DC -DCコンバータの入力側に切り換え,このとき入出力 電圧の関係にもとづきオンとなるスイッチングダイオー ドを介して主電源用DC-DCコンバータが引き続き駆 動されるよう構成される。この直流電源装置は、平常時 は直接主電源用DC-DCコンバータにより負荷に電力 供給しているので電力効率が高い。また停電時にはバッ クアップ用蓄電池をバックアップ用DC-DCコンバー タを経て、主電源用DC-DCコンバータから所定の直 流電力を供給するので、電力効率については平常時より バックアップ用DC-DCコンバータの損失分だけ減少 することになる。この直流電源装置は、構成が簡素で高 効率であり、バックアップ用蓄電池の電圧を自由に選ぶ ことができ、極めて有用である。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ところで、商用交流電源を利用する機器においては、入力電流が正弦波でないことに伴う高調波の増加とこれによる電力系統の設備などに生じる障害が懸念されてきている。従来の商用交流電源を整流平滑する構成では、この障害が問題となる。【0004】本発明は、バックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置において、商用交流入力の入力電流を正弦波にして力率を1に近づけ、電力変換効率を向上させ、そして蓄電池の電圧と種別の選定を自由にすることを課題とする。

[0005]

【課題を解決するための手段】この課題を解決するた め、本発明では以下の手段を提案するものである。商用 交流入力を整流して脈流出力を発生する回路と、この脈 流出力を所定の直流出力に変換して負荷に所定の直流出 力電力を供給する主電源用DC-DCコンバータと,こ のDC-DCコンバータから分岐して充電電流を与える 充電回路と、この充電回路により充電されるバックアッ プ用蓄電池と、このバックアップ用蓄電池から電力供給 され、主電源用DC-DCコンバータの直流出力電圧よ りわずかに低い電圧の直流電力に変換するバックアップ 用DC-DCコンパータと、このバックアップ用DC-DCコンバータの出力と主電源用DC-DCコンバータ の出力との間に接続されたスイッチングダイオードであ って、商用交流入力が停電してバックアップ用DC-D Cコンバータの出力が主電源用DC-DCコンバータの 出力電圧を越えたときに、オン状態となりバックアップ 用DC-DCコンバータから負荷に電力供給する極性に 接続されたスイッチングダイオードとから構成されるこ とを特徴とするバックアップ用蓄電池を備えた直流電源 装置を提案するものである。

【0006】また主電源用DC-DCコンバータの構成 については、商用交流入力の周波数より十分高い周波数 でスイッチングする高周波スイッチング部と、変圧器と 整流平滑部とから構成されることを提案するものであ る

【0007】また充電回路については、変圧器から電力 供給されて第2の整流平滑部を介してバックアップ用蓄 電池に接続することを提案するものである。この構成に より蓄電池の電圧を自由に選定し、充電回路の効率を高 くすることができる。

【0008】またバックアップ用蓄電池については、特性の異なる蓄電池ユニットを交換できる構成として、これら蓄電池ユニットに識別端子を設け、この識別端子に対応して充電回路にも識別端子を設けることを提案するものである。この構成により蓄電池ユニットを交換すると自動的に充電回路の側でも、接続された蓄電池ユニットに対応した充電制御モードに設定することができる。【0009】

【実施例】図1は本発明にかかるバックアップ用蓄電池 を備えた直流電源装置の一実施例である。商用交流電源 1を整流回路2に接続して脈流波形を得る。この脈流波 形は、平滑回路を通さずに主電源用のDC-DCコンバ ータ3の入力に供給する。このDC-DCコンパータ3 の内部は、商用交流電源1より十分高い周波数でスイッ チングする高周波スイッチング部31と変圧器32と整流平 滑部33とを経て、目的の直流電圧を発生する構成となっ ている。また内部の変圧器32の別の巻線と整流平滑部34 を経て、別の直流電圧出力を得る。この直流電圧出力は 充電回路6を経て蓄電池7を充電する。この充電回路6 と蓄電池7との回路は複数個並列に構成されて、各蓄電 池7の保守等のための切離し回路と予備を有している。 蓄電池7のそれぞれからダイオード8を介してバックア ップ用のDC-DCコンバータ9に接続される。このD C-DCコンバータ9はスイッチングダイオード10を経 て, 主電源用のDC-DCコンパータ3の出力と合流し て負荷5に接続される。このバックアップ用のDC-D Cコンバータ9の設定出力電圧は、主電源用のDC-D Cコンバータ3の定常電圧よりわずかに低く設定され る。したがって定常時は主電源用のDC-DCコンバー タ3のみが負荷5に電力供給し、バックアップ用DC-DCコンバータ9は無負荷運転している。そして停電時 には、無瞬断でバックアップ用DC-DCコンバータ9 が負荷5に電力供給する。

【0010】このように構成された直流電源装置の作用を説明する。まず商用交流電源1が正常に電力供給されている場合を説明する。整流回路2の後段には大きな静電容量をもつ平滑回路が存在しないので、商用交流電源1の位相角のすべてにわたって一様に入力電流が流れるよう動作する。そして図1に波形が図解されているように、高周波スイッチング部31では輪郭が商用交流電源1の波形の中にスイッチング高周波で細かく切られている。この波形を整流平滑部33で商用交流電源1のいわゆ

る低周波成分も平滑するような定数をもって直流にする。したがって商用交流電源1の入力電流は正弦波状になり力率はほぼ1に等しくなると同時に、平坦な直流出力を発生させることができる。このようにして主電源用のDC-DCコンバータ3はスイッチングダイオード4を経て負荷5に所定の直流電力を供給する。この電力供給経路では高周波スイッチング部31が主な電力損失の可能性のある要素であるが、スイッチング素子の選定と設計条件を最適化することより、この電力損失を小さくすることは十分可能である。

【0011】つぎに、商用交流電源1が停電したときには、主電源用のDC-DCコンバータ3は電力供給を停止する。このとき蓄電池7から電力供給されてアイドリング動作しているバックアップ用のDC-DCコンバータ9はスイッチングダイオード10をオンさせて負荷5に電力供給する。なお、ダイオード4は必ずしも必要な要素ではなく、主電源用のDC-DCコンバータ3の回路について、バックアップ用のDC-DCコンバータ9から逆流等して障害が発生しないような回路構成であれば、ダイオード4は不要である。

【0012】蓄電池7の選定については、充電側ではDC-DCコンバータ3の中の変圧器32と整流平滑部34と充電回路6との回路が蓄電池7の電圧と種別に適合して自由に選定できる。また放電側ではバックアップ用のDC-DCコンバータ9において昇降圧することにより、必要な負荷5の電圧に自由に対応できる。

【0013】図2は、充電回路と蓄電池との接続関係を 示す部分的な詳細図である。充電回路6に接続される蓄 電池としては、シール鉛蓄電池ユニット7LとNiCd 蓄電池ユニット7Nの2種類がある。シール鉛蓄電池ユ ニット7しは、必要数直列接続したシール鉛蓄電池711、 712 等の+極をそれぞれ端子701,702 等に接続し、各-極を端子709 に共通接続する。そして蓄電池の種別を識 別するための端子A、B、Cを設けて、この中のA、B 間を短絡接続する。また、NiCd蓄電池ユニット7N は、必要数直列接続したNiCd蓄電池731,732等の+ 極をそれぞれ端子721,722 等に接続し,各-極を端子72 9 に共通接続する。そして端子A, B, Cを設けて, こ の中のB、C間を短絡接続する。そして充電回路6は、 これらのシール鉛蓄電池ユニット7LとNiCd蓄電池 ユニット7Nの2種類のいずれとも接続結合できるよう に端子601,602....609およびA, B, Cを設ける。蓄電 池の種別の違いについては、端子A、B、Cの何れの間 が短絡されるかによって識別されて、充電制御モードを 対応して切り換える。

[0014]

【発明の効果】本発明は以上述べたような特徴を有しているので、バックアップ用蓄電池を備えた直流電源装置において、商用交流入力の入力電流を正弦波にして力率を1に近づけ、電力変換効率を向上させ、そして蓄電池

の電圧と種別の選定を自由にすることができる。また特 別に停電検出スイッチなどを必要とせず信頼性が高く経 済的でもある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかるバックアップ用蓄電池を備えた 直流電源装置の一実施例を示す図である。

【図2】 充電回路と蓄電池との接続関係を示す図であ る.

【図3】従来のバックアップ用蓄電池を備えた直流電源 装置の一例を示す。

【符号の説明】

1…商用交流電源 2…整流回路 3...DC-DC3 ンバータ

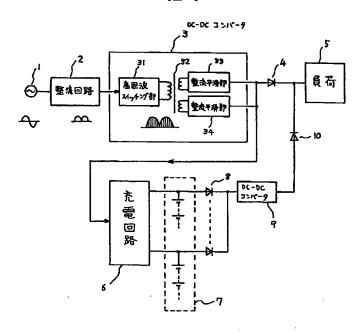
4…ダイオード 6…充電回路 5…負荷

7…蕃電池

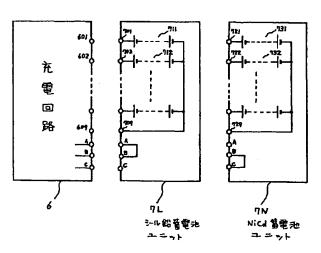
7 L…シール鉛蓄電池ユニット 7N···NiCd蓄電 池ユニット

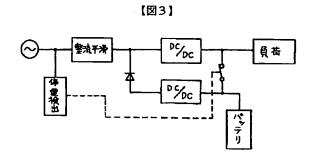
8…ダイオード 9DC-DCコンバータ 10…ダ イオード

【図1】



【図2】





フロントページの続き

(72)発明者 長坂 義雄

東京都豊島区高田1丁目18番1号 オリジン電気株式会社内

(72)発明者 山▲崎▼ 幹夫

東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 日本電信電話株式会社内